

# TOTO

## ハンドドライヤー吸引・高速タイプ

### TYC430WJ型

日本国内専用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1. 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| 表示 | 意味   |
|----|--|
|    | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。                 |
|    | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

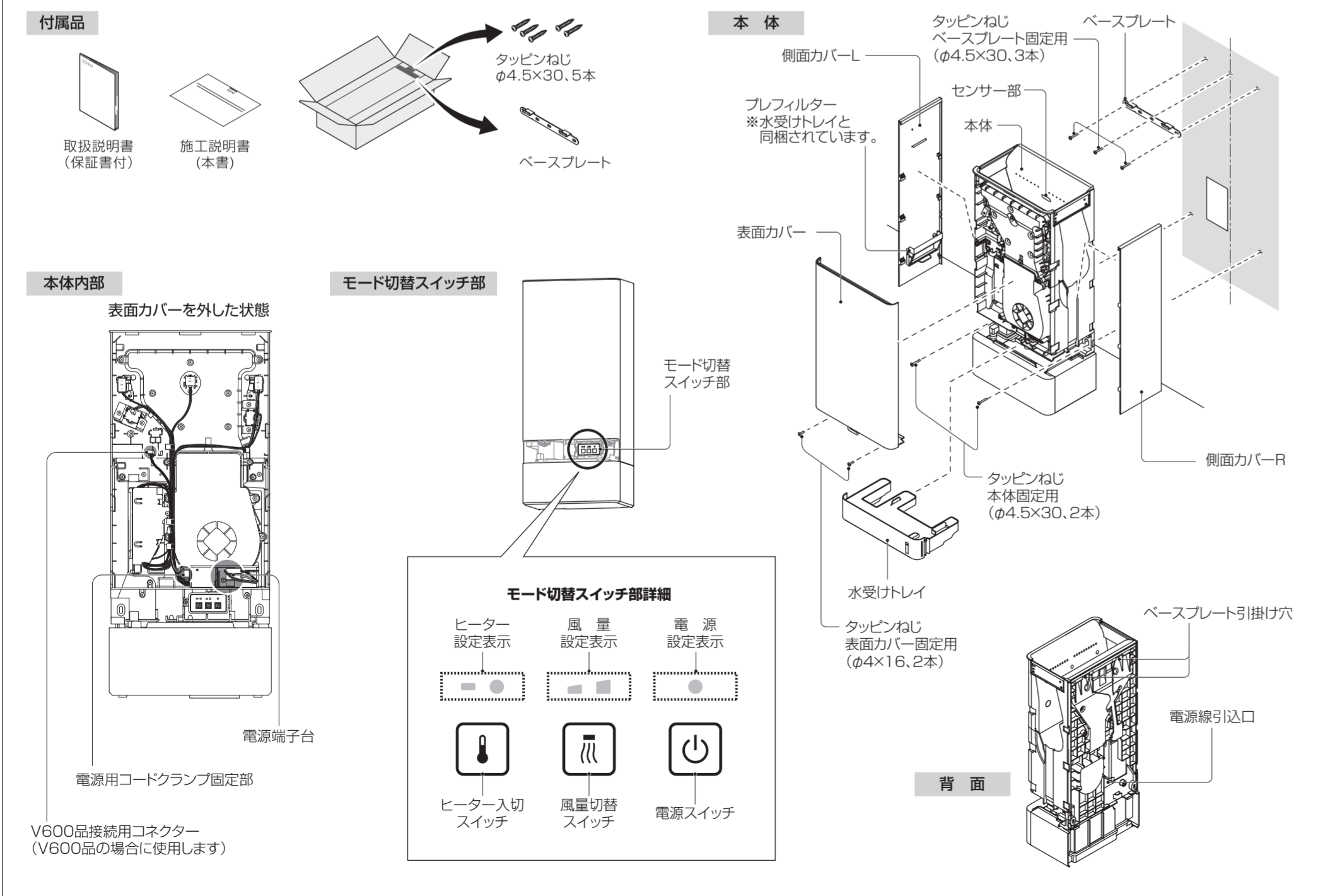
|  |   |
|--|---|
|  | ○は、してはいけない「禁止」の内容です。左図は、「分解禁止」を示します。    |
|  | ●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。左図は、「必ず実行」を示します。 |

| 警告 |  |
|----|--|
|    | 屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所に設置しない<br>火災、感電の原因になります。   |
|    | 腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中に設置しない<br>火災の原因になります。  |
|    | 指定する電源(AC100V)以外では使用しない<br>火災の原因になります。   |
|    | 電源線・プラグ付電源コードが破損するようなことはしない<br>傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。<br>傷んだまま使用すると、火災、感電の原因になります。 |
|    | ガタついているコンセントは使わない<br>火災、感電の原因になります。  |
|    | コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない<br>たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。  |
|    | 絶対に分解したり、修理、改造は行わない<br>火災、感電の原因になります。  |

|  |  |
|--|--|
|  | 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない<br>感電の原因になります。   |
|  | 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および施工説明書に従って、電気工事士の資格を持った方が行う<br>不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。 |
|  | 電源には漏電遮断器を取り付ける<br>故障や漏電の際に、感電の原因となります。  |
|  | 電源線や電源コードは、定格仕様のもを使用し確実に接続する<br>不確実な接続は火災の原因になります。                                       |
|  | AC100Vの電源コンセントを使用する際は、定格15A以上のコンセントを単独で使用する<br>他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。      |
|  | 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く<br>コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災、感電の原因になります。                       |
|  | 電源プラグの刃などについたホコリは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む<br>火災、感電の原因になります。プラグを抜き、乾いた布でふいてください。              |

|  |   |
|--|---|
|  | 粉塵の多い場所に設置しない<br>故障の原因になります。  |
|  | 塩害地域に設置しない<br>故障の原因になります。   |
|  | 施工するときは手袋(軍手)を着用する<br>けがの原因になります。   |
|  | 商品は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける<br>落下してけがをしたり、破損の原因になります。                       |
|  | 太陽光が直接当たる場所には設置しないでください。<br>太陽光が直接当たると誤動作する場合があります。                         |
|  | ご使用の際、手を激しく動かすなど手の乾かし方によっては細かな水滴が周囲に飛び散ることがありますので、壁材や床材には、耐水性のある材料をご使用ください。 |

### 2. 部品の確認および各部のなまえ



### 3. 施工方法 この施工方法は新設の場合を基準に作成しております。

#### 3-1 施工前の注意

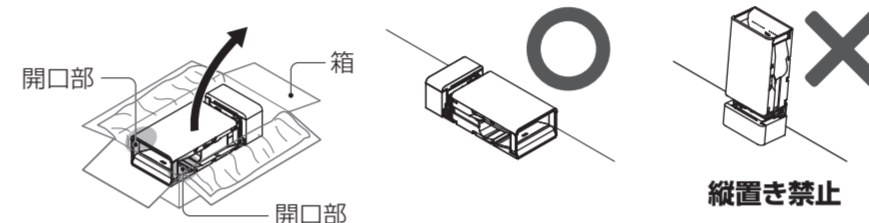
|  |  |
|--|--|
|  | <b>警告</b><br>指定する電源(AC100V)以外では使用しない<br>火災の原因になります。                                      |
|  | 電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および施工説明書に従って、電気工事士の資格を持った方が行う<br>不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。 |
|  | 電源には漏電遮断器を取り付ける<br>故障や漏電の際に、感電の原因になります。  |

■定格以上の漏電遮断器を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

|                           |       |         |
|---------------------------|-------|---------|
| TYC430WJ型                 | 漏電遮断器 | 定格15A以上 |
| AC100V±10%                | 電源    |         |
| 200V印加すると商品(コントローラー)が故障する | 備考    |         |

#### 施工前の注意

##### 商品の取り出しについて



##### お願い

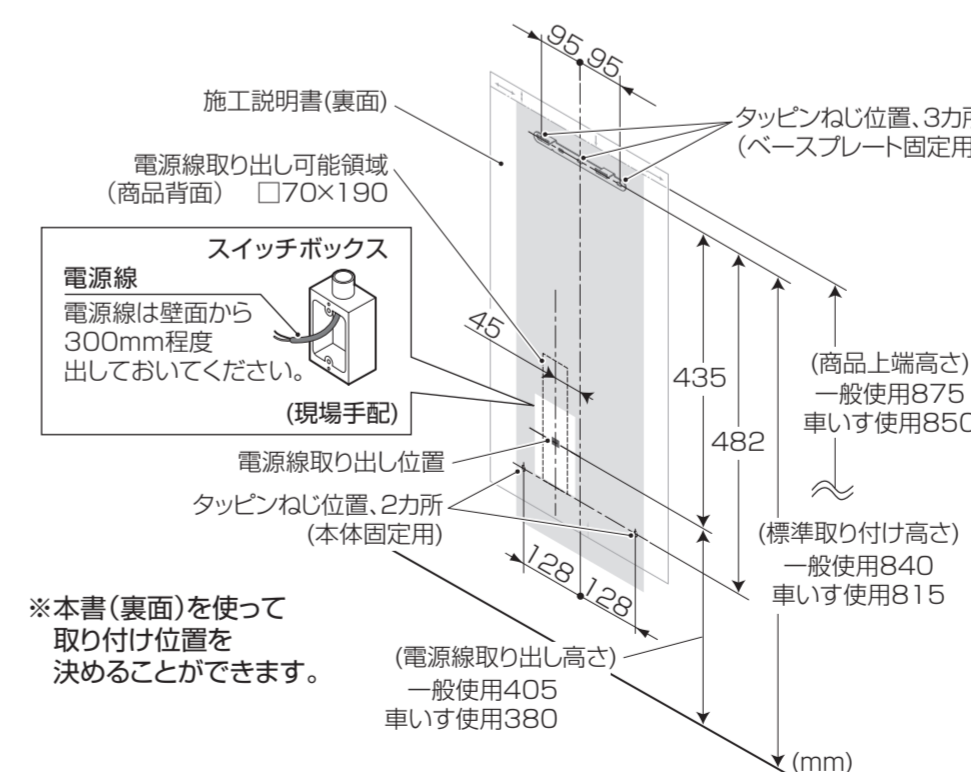
- 商品を入箱から取り出す場合は、側面の開口部を持って取り出してください。
- 商品をおく場合は、背面を下にして置いてください。  
縦置きで放置しないでください。  
転倒して、破損の原因になります。
- 商品を壁面に取り付けの前に、側面カバーや水受けトレイを組み付けしないでください。  
そのまま持ち上げると、落下してけがをしたり、破損の原因になります。

#### 3-3 電源線直結時の施工方法

参照 プラグ付電源コード使用時の施工方法は 3-4 をご確認ください。

##### 1 スイッチボックスの埋め込みと配線

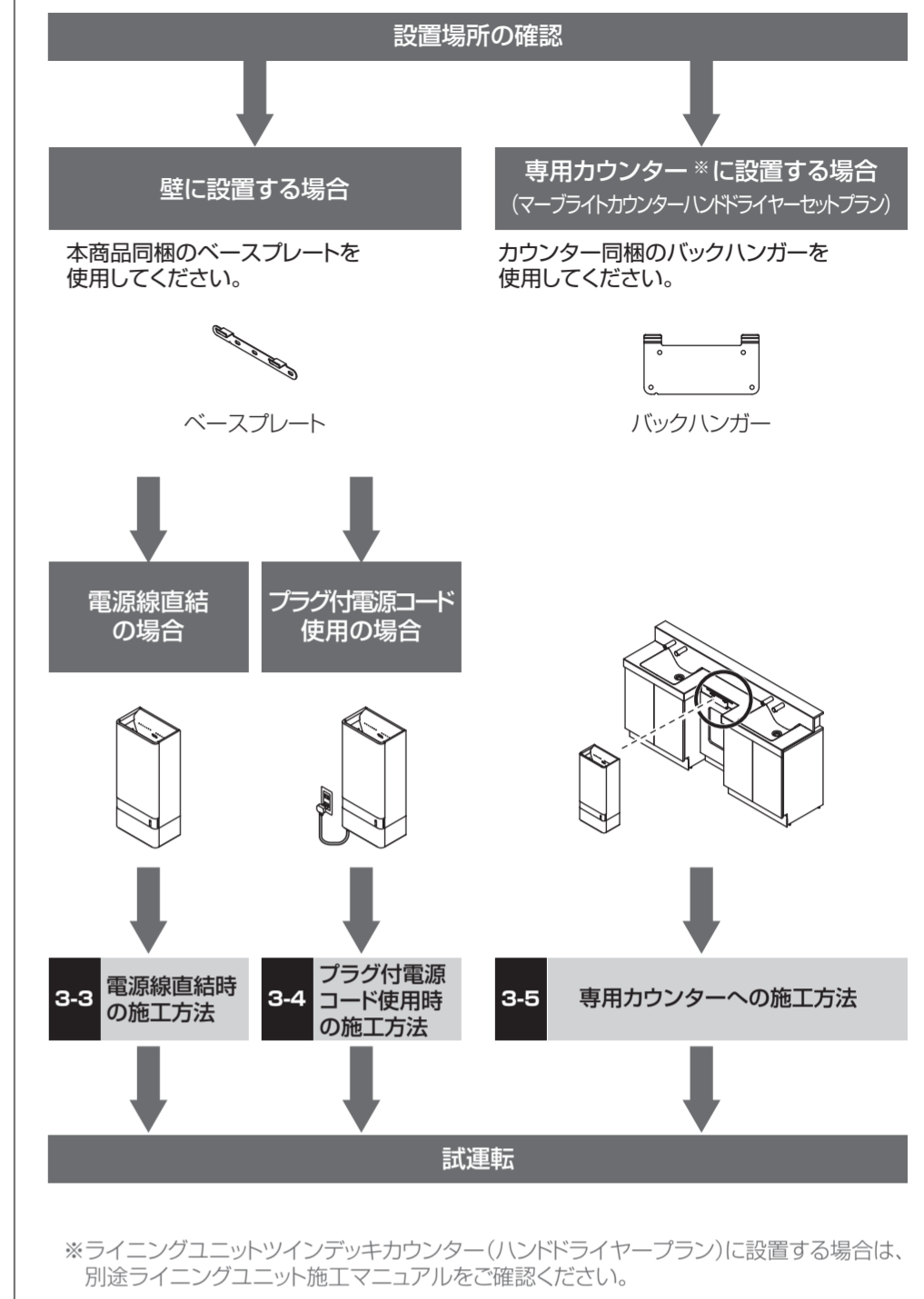
- スイッチボックス(JIS C 8340)を壁面に埋め込み、電源線(VVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線)を配線します。
- スイッチボックスの中心位置は、以下のとおりとしてください。  
上下方向…ベースプレート固定用ねじ位置より435mm下側  
左右方向…中心より45mm左側
- ※電源線は壁面から300mm程度出しておいてください。



##### 型紙の使いかた

本書裏面を以下のように合わせて使用してください  
本書商品上端基準線 = 商品上端高さ  
本書 中心線 = 商品中心

#### 3-2 施工の流れ



#### 2 ベースプレートの取り付け

|  |   |
|--|---|
|  | <b>警告</b><br>商品は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付け<br>落下してけがをしたり、破損の原因になります。 |
|  | 商品は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付け<br>落下してけがをしたり、破損の原因になります。              |

●本商品同梱のベースプレートをタッピンねじ(φ4.5×30、3本)を用いて、確実に壁面に固定します。  
●左から1番目、3番目、5番目の穴を使用してください。

※タイルやコンクリートの壁面に取り付けられる場合には、樹脂プラグ(現場手配)などを使用して取り付けてください。  
※タッピンねじ1本あたりの引き抜き強度1000N以上確保してください。

商品周囲必要空間

ベースプレート

タッピンねじ (φ4.5×30、3本)

タッピンねじ取り付け位置 (左から1、3、5番目使用)

(標準取り付け高さ) 一般使用840  
車いす使用815

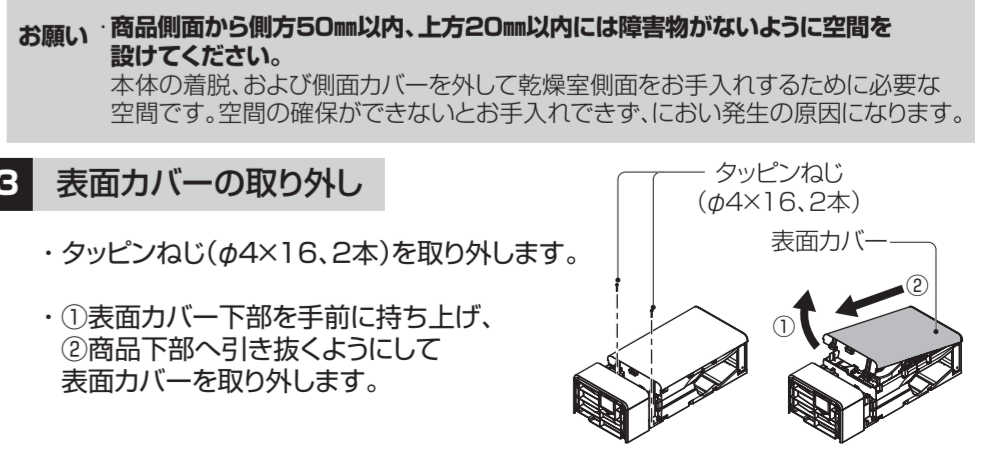
参照 3-3 6 本体の固定

参照 本書を使って取付位置を決めることができます。使い方は 3-3 1 スイッチボックスの埋め込みと配線 型紙の使いかた をご確認ください。

商品底面から下方60mm以内には障害物がないように空間を設けてください。  
商品をお手入れするために必要な空間です。

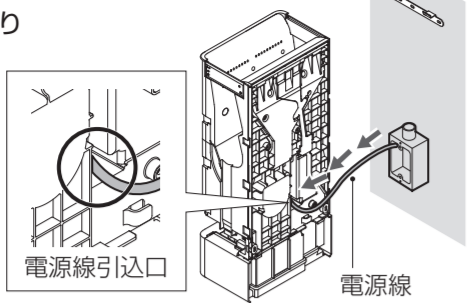
お願い 商品側面から側方50mm以内、上方20mm以内には障害物がないように空間を設けてください。  
本体の着脱、および側面カバーを外して乾燥室側面をお手入れするために必要な空間です。空間の確保ができないとお手入れできず、におい発生の原因になります。

#### 3 表面カバーの取り外し



#### 4 電源線の引き込み

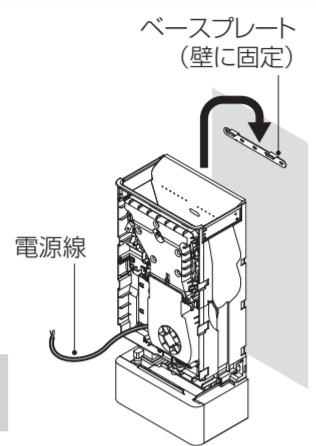
・本体背面の電源線引込口より電源線を引き込みます。



#### 5 本体の壁掛け

・本体を壁に固定したベースプレートに引っ掛けます。

お願い 電源線を壁面との間に挟まないように十分注意してください。

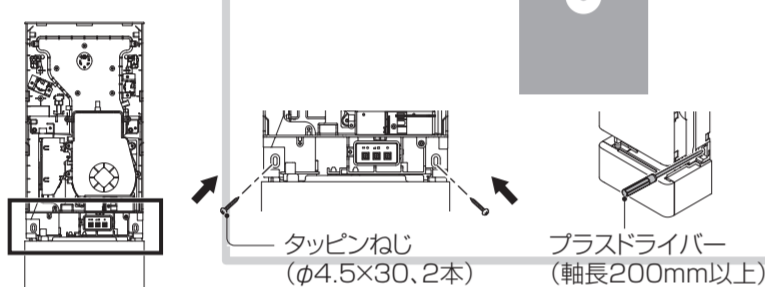


#### 6 本体の固定

・本体下部をタッピンねじ(φ4.5×30、2本)で固定します。

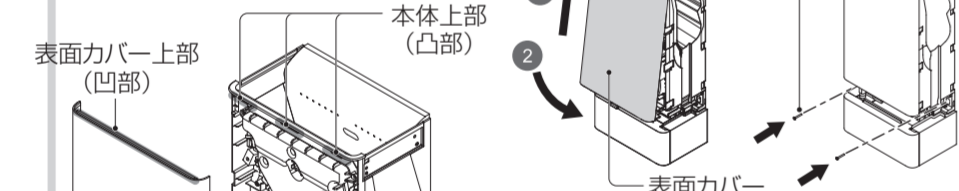
※タイルやコンクリートの壁面に取り付ける場合には、樹脂プラグ(現場手配)などを使用して取り付けてください。

※タッピンねじを締め付ける際、プラスドライバーの軸長は200mm以上のものを使用してください。



#### 9 表面カバーの取り付け

①本体上部の凸部に表面カバー上部の凹部を確実に差し込み、②表面カバーを閉じます。

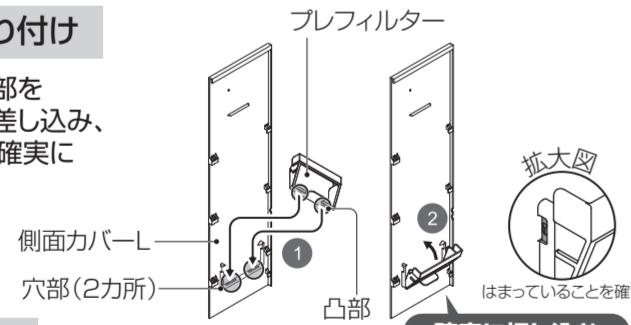


・表面カバー下部をタッピンねじ(φ4×16、2本)で固定します。  
※本体部と表面カバー上部のすきまが目立つ場合は、一度ねじをゆるめ、表面カバーを上側に押し上げながら、再度ねじで固定してください。

お願い 表面カバーを取り付ける際は、電源線や本体内部の電線類などをかみ込まないよう注意してください。

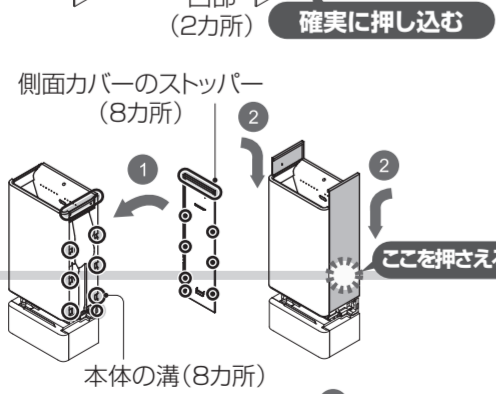
#### 10 プレフィルターの取り付け

①プレフィルター下部の凸部を側面カバーL下部の凹部に差し込み、②側面カバー側に押し込み確実に取り付けます。



#### 11 側面カバーの取り付け

①本体の溝(8カ所)に側面カバーのストッパー(8カ所)を差し込むようにして取り付けてください。



②側面カバーの下部を押さながら上から下に押し込んでください。

③取付後、表面カバーと側面カバーに段差がないか確認してください。段差がある場合は、側面カバーを外し、再度取り付けてください。

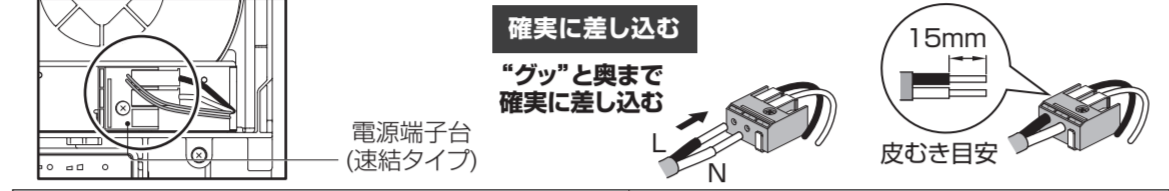
#### 4. 試運転

#### 7 電源線の接続

**警告** 禁止  
電源線・プラグ付電源コードが破損するようなことはしない  
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。  
傷んだまま使用すると、火災、感電の原因になります。

必ず実行  
電源線は先端をそろえ端子台に確実に差し込む  
差し込みが不十分だと火災の原因になります。

電源端子台への接続について  
・各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工し、端子穴に芯線を“グツ”と奥まで確実に差し込んでください。



電源線の芯線2本が端子台の手前で均一になるように加工してください。

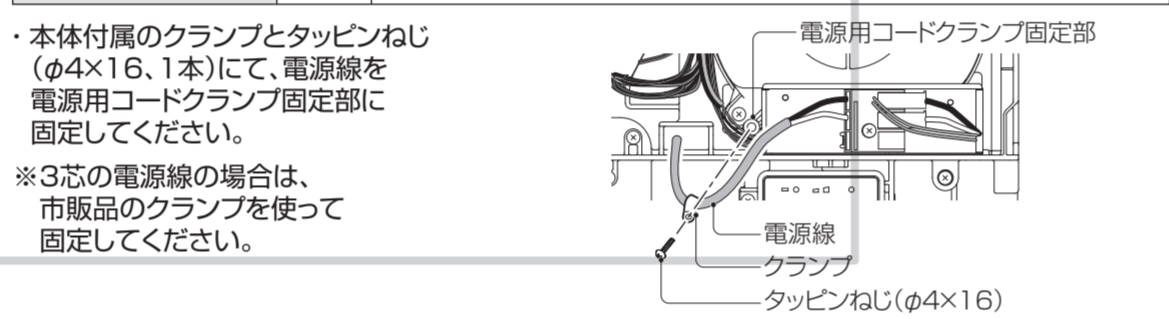
端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。  
曲がった電線使用 差し込み付近の折れ曲がり

端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。

電源線を外すときはここを電工ドライバーマイナスで強く押してください。

#### 8 電源線の固定

**警告** 必ず実行  
電源線・プラグ付電源コードは、クランプで確実に固定する  
クランプで固定しない場合、電源接続部に負荷がかかり火災の原因になります。



#### 5 電源コードの固定

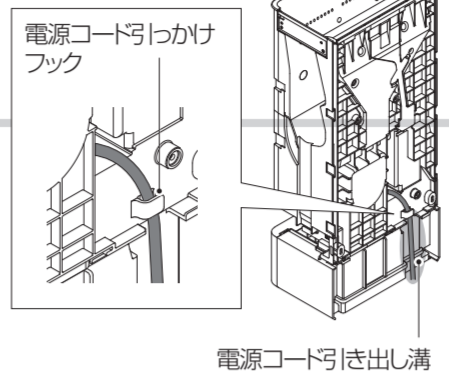
・プラグ付電源コードを電源用コードクランプ固定部に固定してください。  
参照 3-3 8 電源線の固定 をご確認ください。

#### 6 電源コードの取り回し・本体の壁掛け

・プラグ付電源コードを電源コード引き出し溝へ納めた状態で、本体を壁に取り付けてください。

参照 3-3 5 本体の壁掛け をご確認ください。

お願い プラグ付電源コードを壁面と本体との間に挟まないように十分注意してください。



#### 7 本体の固定

参照 3-3 6 本体の固定 をご確認ください。

#### 8 表面カバー、プレフィルター、側面カバーの取り付け

参照 3-3 9 表面カバーの取り付け をご確認ください。

参照 3-3 10 プレフィルターの取り付け をご確認ください。

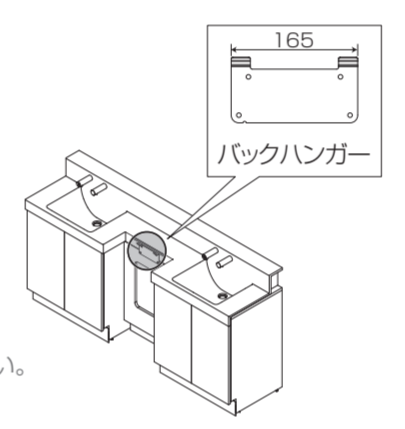
参照 3-3 11 側面カバーの取り付け をご確認ください。

4. 試運転へ、進んでください。

#### 3-5 専用カウンターへの施工方法

#### 1 バックハンガーの確認

・専用カウンターにバックハンガーが取り付けられていることを確認してください。  
※本商品同梱のベースプレート、タッピンねじ(3本)は不要になります。



#### 2 表面カバーの取り外し

参照 3-3 3 表面カバーの取り外し をご確認ください。

#### 3-4 プラグ付電源コード使用時の施工方法

**警告** 禁止  
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない  
たご足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

必ず実行  
AC100Vの電源コンセントを使用する際は、定格15A以上のコンセントを単独で使用する他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。

プラグ付電源コードは、必ず別売品(品番:TYC502型)を使用してください。

#### 1 ベースプレートの取り付け

・あらかじめプラグ付電源コードが、接続するコンセントに届くことを確認し、ベースプレートを取り付けてください。  
参照 3-3 2 ベースプレートの取り付け をご確認ください。

#### 2 表面カバーの取り外し

参照 3-3 3 表面カバーの取り外し をご確認ください。

#### 3 電源コードの引き込み

・本体背面の電源線引込口から、プラグ付電源コードを引き込みます。  
参照 3-3 4 電源線の引き込み をご確認ください。

#### 4 電源コードの接続

・本体に引き込んだプラグ付電源コードを端子台に差し込みます。

電源端子台への接続について  
・各々の芯線がまっすぐ出ている状態に、端子穴に芯線を“グツ”と奥まで確実に差し込んでください。



端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。  
曲がった電線使用 差し込み付近の折れ曲がり

端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。

端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。  
電源線を外すときはここを電工ドライバーマイナスで強く押してください。

#### 6 電源コードの固定

・プラグ付電源コードを電源用コードクランプ固定部に固定してください。  
参照 3-3 8 電源線の固定 をご確認ください。

#### 7 表面カバー、プレフィルター、側面カバーの取り付け

参照 3-3 9 表面カバーの取り付け をご確認ください。

参照 3-3 10 プレフィルターの取り付け をご確認ください。

参照 3-3 11 側面カバーの取り付け をご確認ください。

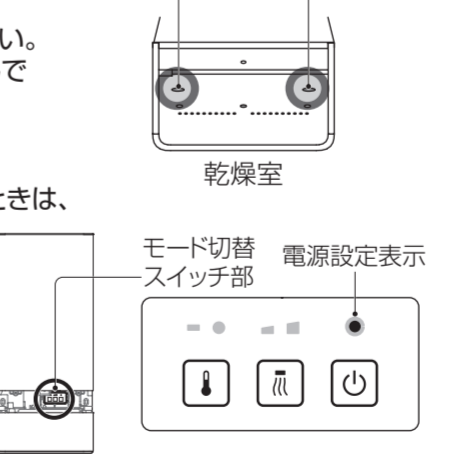
#### 4. 試運転

#### 1 試運転

・取り付けが完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。  
水受けトレイを取り付けている場合は、水受けトレイを取り外してください。

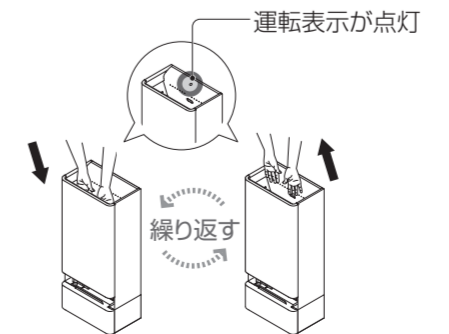
#### 1-1 電源の投入と照明と表示の確認

・屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。または、電源プラグをコンセントに差し込んでください。  
・乾燥室照明と電源設定表示が、電源投入から約5秒後に点灯します。  
・乾燥室照明と電源設定表示が点灯しないときは、もう一度、電源を確認してください。



#### 1-2 動作の確認

・乾燥室内部に手を差し込み、風が吹き出すこと、および運転表示が点灯することを確認してください。



#### 3 プラグ付電源コードの取り回しと引き込み

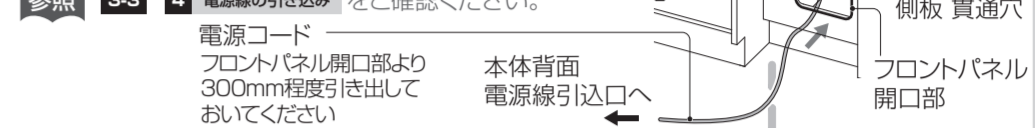
**警告** 禁止  
コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない  
たご足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

必ず実行  
AC100Vの電源コンセントを使用する際は、定格15A以上のコンセントを単独で使用する他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱し火災の原因になります。

プラグ付電源コードは、必ず別売品(品番:TYC502型)を使用してください。

・プラグ付電源コードは、電源プラグ側をフロントパネル開口部より側板の貫通穴に通し、コンセント側へ取りまわしてください。

・本体背面の電源線引込口から、プラグ付電源コードを引き込みます。  
参照 3-3 4 電源線の引き込み をご確認ください。



#### 4 本体の壁掛け・本体の固定

参照 3-3 5 本体の壁掛け をご確認ください。

参照 3-3 6 本体の固定 をご確認ください。

#### 5 電源コードの接続

・本体に引き込んだプラグ付電源コードを端子台に差し込みます。

電源端子台への接続について  
・各々の芯線がまっすぐ出ている状態で、端子穴に芯線を“グツ”と奥まで確実に差し込んでください。



端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。  
曲がった電線使用 差し込み付近の折れ曲がり

端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。

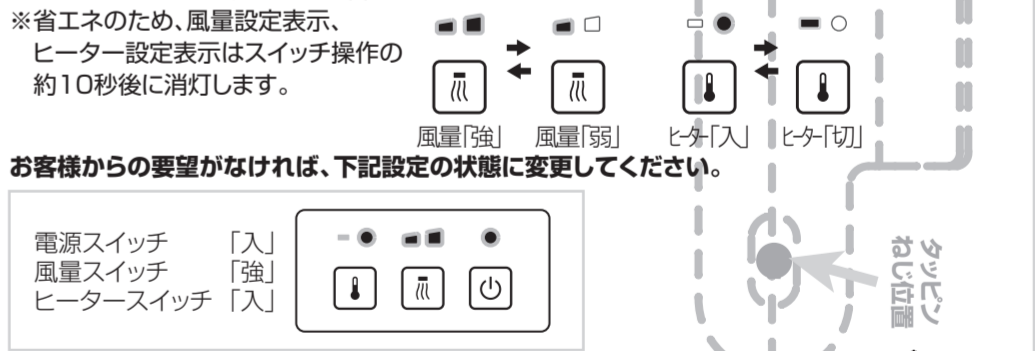
端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。  
電源線を外すときはここを電工ドライバーマイナスで強く押してください。

#### 1-3 モード切替スイッチの確認

・電源スイッチ、風量切替スイッチ、ヒーター入切スイッチを操作し、モードが切り替わっているか確認してください。  
※切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

電源「入/切」の変更方法  
電源スイッチを押すごとに設定が切り替わります。

風量「強/弱」、ヒーター「入/切」の変更方法  
設定を変更したいスイッチを1度押しすと、現在の設定が表示されます。スイッチを押すごとに設定が切り替わります。  
※省エネのため、風量設定表示、ヒーター設定表示はスイッチ操作の約10秒後に消灯します。

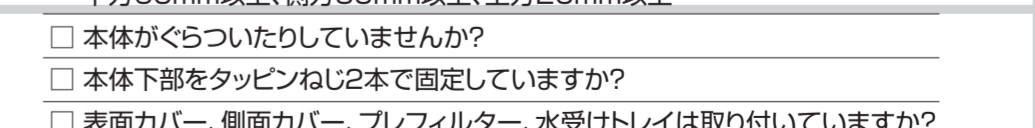


お客様からの要望がなければ、下記設定の状態に変更してください。

電源スイッチ 「入」  
風量スイッチ 「強」  
ヒータースイッチ 「入」

#### 2 水受けトレイの取り付け

・水受けトレイカバーが取り付けられていることを確認し、水受けトレイを本体に取り付けます。



#### 3 施工チェック項目

- 商品周囲必要空間は守られていますか?  
下方60mm以上、側方50mm以上、上方20mm以上
- 本体がぐらついたりしていませんか?
- 本体下部をタッピンねじ2本で固定していますか?
- 表面カバー、側面カバー、プレフィルター、水受けトレイは取り付けられていますか?
- 電源線や電線類を表面カバーや本体背面にかみ込んだりしていませんか?

試運転のあとは  
■工事店様へ  
試運転での動作確認が終了しましたら、付属の「取扱説明書(保証書付)」をお客様に渡し、商品の使いかたについて説明してください。

50mm以上 空間確保

20mm以上 空間確保

商品上端基準線 = 商品上端 一般使用 875 mm 床面より 車いす使用 850 mm

50mm以上 空間確保